

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10743001				
授業名	福祉政策論	形態	講義	単位	2単位
担当教員	下山 昭夫				
開講学期	2026年度前学期	曜日・時限	金曜1限		
授業目的	社会福祉学の学問体系には、大きく区分して2つのアプローチがある。一つは制度・政策論的アプローチであり、もうひとつは実践論的アプローチである。 本講義は制度・政策論的アプローチにより、さまざまな社会福祉制度・政策上の課題について資料にもとづいて講義するとともに受講生と議論していきたい。そのことを通じて、受講生の社会福祉制度・政策に対する理解を深め、かつ視野を広げることを目的としている。				
授業内容	本講義は、今日の社会福祉制度・政策における喫緊の諸課題を取り上げそれらに関する具体的な資料等を精読することを通じて、問題の認識に努めることから始める。課題として取り上げるのは、少子化、高齢化が生み出す諸課題、さらにそれを引き起こしている要因や背景についても議論の対象とする。また、将来的な制度・政策上の課題についても取り上げていくために、家族変動、未婚率の動向なども題材にする。なお、社会福祉政策の展開は、その前提として一定程度の経済成長、さらに税収等が見込めることが前提となる。そこで、授業の題材としては、具体的直接的な社会福祉のテーマに限らず、それらに間接的に関連する政策課題等々も授業範囲に設定する。詳細は、授業のスタート時にアナウンスする。				
到達目標	少子化や高齢化に起因するところの、今日のさまざまな社会福祉制度・政策上の諸課題について資料を精読することを通じて探求します。そして、それらの要因・背景に関しての理解を深めることを通じて受講生の「社会福祉学やソーシャルワーク」に係る視野を広げることと、それによって日本社会に潜在化している将来的な社会福祉の制度・政策上の課題の確認と理解を目標にします。				
ディプロマポリシーとの関連性	<社DP2-(2)> 専門職（社会福祉士や小学校教諭等）に足る知識や技術、福祉マインドを持って、社会福祉や教育をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。				
授業形態	この授業は、基本的には講義形式を中心に実施します。授業を進める上で必要な資料・教材は、担当教員の方から配布します。あらかじめ配布した資料等により担当教員の講義をベースにしつつ、講義内容や資料等に関するグループワークやディスカッションを随時実施します。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	この授業科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料・教材等については、担当教員の方から配布します。				
評価方法	授業形態のところでも述べたように、学生参加型、双方向型の授業の実施を目指していますので、その全過程が評価の対象になります。複数回の授業ごとに小レポートを提出していただきます。また、期末には総仕上げのまとめのレポートを提出していただきます。これらを成績評価の対象とします。				
評価基準	小レポート：5回×10点=50点、期末レポート=50点 合計=100点				
試験・レポート等のフィードバック	提出されたレポート等については、次の授業回において講評と解説を行います。				
注意事項及び履修条件	課されたレポートは必ず提出すること。成績評価の対象です。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	シラバスを熟読しその内容を理解するとともに授業のやり方について確認する。受講生には、本講義を履修する理由について、また、学習することによって獲得したい事柄について、初回授業時に表明してもらいます。自己紹介のようなものです。
授業内容	本講義のオリエンテーション。講義の目的、到達目標そして授業形態等の授業の運営方法などについて説明します。また、事前学習や事後学習の具体的な方法、オフィスアワー、レポート等を含めた成績評価の方法と単位認定についても説明します。全15回分の授業の概要を説明します。また、ベースとなる諸資料を配布し、簡単な説明を行います。
事後学習	全15回分の授業の概要のまとめを、小レポートとして次回授業時に提出。
参考文献	この回の参考図書はない。

第2回	
事前学習	事前に配付した資料を精読する。少子化・高齢化の人口予測（1）。
授業内容	事前配付資料により講義を行いません。講義と資料に対するディスカッションをします。
事後学習	講義内容をふりかえりまとめておくこと。

参考文献	この回についても参考図書はありません。
------	---------------------

第3回	
事前学習	事前に配付した資料の精読。少子化・高齢化の人口変動（2）。
授業内容	事前に配付した資料に基づき講義を行います。講義ののちに、ディスカッションを行います。
事後学習	授業のポイントを要約しておくこと。
参考文献	資料を配布する予定。

第4回	
事前学習	事前配付の資料を熟読して下さい。少子化・高齢化の人口変動（3）。
授業内容	この回で、少子化と高齢化という人口変動に関する講義は終了します。今日の日本社会が、人口減少という有史以来初めての時代状況に直面していることの意味等について、整理し確認するような授業となります。次回からは、家族変動という観点から、さらに詳細に、我々の日常生活場面における基礎的な社会集団の変化について考察を進めていきます。
事後学習	授業の内容に基づいて、学生個々の発言も含め、自分なりのまとめをしてください。
参考文献	必要な資料は配付予定。

第5回	
事前学習	事前に資料を配付します。精読してください。家族変動（1）。
授業内容	資料に基づき講義を行います。資料に関する質疑応答も行います。
事後学習	議論のための資料が不足している場合、追加資料の収集が事後学習になります。
参考文献	関連した資料を配布予定。

第6回	
事前学習	事前配布した資料を精読してください。また、追加資料の収集が事前学習。家族変動（2）。
授業内容	グループワークです。まとめと発表の準備もしてください。不明なところは、授業中はもとより、オフィスアワーに相談に来て下さい。
事後学習	グループワークの展開と結果について、各自でまとめて、次回の授業時に提出。
参考文献	関連する資料を配布します。

第7回	
事前学習	家族変動についての資料を事前配布します。熟読してください。家族変動（3）。
授業内容	資料にもとづいて講義します。講義内容についてのディスカッションを行います。できる限り自分の意見を表明できるように努めてください。
事後学習	授業の展開と内容をまとめておく。
参考文献	特にありません。

第8回	
事前学習	配付資料を熟読する。質問事項等をまとめる。
授業内容	第2次世界大戦後の社会保障制度の成立と社会福祉制度の歴史的な変遷に関して授業を進めます。この回では、社会福祉基礎構造改革のところまで講じます。
事後学習	事後学習は、次回の授業分とともにまとめますので、講義の内容をノートに整理しておく。
参考文献	参考資料を配布予定。

第9回	
事前学習	事前に配布した資料に基づき授業を行います。資料に対する質問事項等をまとめておくこと。

授業内容	社会福祉基礎構造改革から、現在の社会保障・税一体改革までの福祉政策の変化について講じます。今年度以降の社会保障制度改革の工程表についても講じます。次回以降に使う教材資料を配付します。
事後学習	前回分も含めて、授業の内容を時系列で整理しまとめておく。つぎの提出レポートの末尾に記述しておいて下さい。
参考文献	配布資料はありません。

第10回	
事前学習	事前に配布した資料を精読してください。
授業内容	社会保障・社会福祉制度を維持していくための各論的なテーマについて講義します。
事後学習	皆さんが必要と思われる追加資料の収集をします。それを含め小レポートにまとめてください。
参考文献	特にありません。

第11回	
事前学習	資料を事前配布します。精読してください。
授業内容	社会保障・社会福祉制度の今日的な課題について講じます。グループワークを行います。色々な考えが出てくるとと思いますので、さまざまな角度からの議論をします。
事後学習	レポートにまとめます。
参考文献	特にありません。

第12回	
事前学習	政府の財政問題の資料をお送りします。熟読して下さい。
授業内容	政府並びに地方公共団体の財政状況に関して講義します。国債発行残高についても議論します。皆さんの意見や考えを表明してください。
事後学習	授業及びさまざまな意見を踏まえ、受講生自身のまとめをしてください。
参考文献	関係する資料を配布する予定です。

第13回	
事前学習	高齢者に関する資料を配付します。どこに問題があるか考えてください。
授業内容	資料により、高齢者の犯罪被害者の問題を講義します。高齢者が犯罪被害から逃れることのできる方策などについて、ディベートとディスカッションを行います。
事後学習	小レポートにまとめてください。なぞ、最終レポートの作成アドバイスを行います。適宜、オフィスの時間に入室してください。それ以外でも結構です。
参考文献	関連資料を配布する。

第14回	
事前学習	事前資料の配付では、高齢者の社会保険料負担がテーマです。精読してください。
授業内容	国債発行残高が巨額になるという事実を踏まえ、高齢者の社会保険料負担のことを講義します。受講生の考えを表明していただき、授業を進めていきます。ディスカッションを行ってまいります。
事後学習	最終レポートにまとめ提出準備。
参考文献	参考資料は用意しておりません。

第15回	
事前学習	最終レポートの提出方法等について伝達します。当方が希望する様式に整えて提出の準備をしてください。
授業内容	履修者がそれほど多くない場合は、一人ひとりの授業の感想やコメント・意見、そして何が学べたかを表明してもらいます。
事後学習	最終レポートを提出します。
参考文献	とくにありません。

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><社DP-2> 【社会福祉学分野における知識・技能・態度】 社会福祉学に関する価値、倫理、理論、方法を体系的に理解しそこから培われる福祉マインドを持って、さまざまな実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。</p> <p><社DP2-(1)> 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。</p> <p><社DP2-(2)> 専門職（社会福祉士や小学校教諭等）に足る知識や技術、福祉マインドを持って、社会福祉や教育をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。</p>
-----------	--